

令和5年度 学校アンケート結果（教職員用）

1. 集計結果

A = そう思う B = ほぼ思う C = あまり思わない D = 思わない

項目	質 問 内 容	A	B	C	D	肯定的評価 A + B	R4年度
1	学校の教育目標やめざす児童像に共感でき、それに向けて学校は努力している。	44 %	52 %	4 %	0 %	96 %	96.0
2	学校は、教育活動などの情報を適切に伝えている。	59 %	37 %	4 %	0 %	96 %	100.0
3	学校は子どもの様子などについて、保護者への連絡や意志疎通をきめ細かく行う努力をしている。	52 %	48 %	0 %	0 %	100 %	100.0
4	学校は、子ども一人一人を大切に、特別に支援の必要な子どもへも対応した教育をしている。	48 %	37 %	11 %	4 %	85 %	96.0
5	学校は子どもにとって安全・安心な環境づくりに努力をしている。	48 %	44 %	7 %	0 %	93 %	100.0
6	学校は子どもたちの基礎学力を身につけさせる努力をしている。	41 %	56 %	4 %	0 %	96 %	100.0
7	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	15 %	81 %	4 %	0 %	96 %	96.0
8	学校は、外国語教育に積極的に取り組んでいる。	41 %	56 %	4 %	0 %	96 %	96.0
9	学校は、あいさつのできる子どもを育てている。	15 %	59 %	26 %	0 %	74 %	68.0
10	学校は、歌声の響く学校づくりに努力をしている。	44 %	56 %	0 %	0 %	100 %	84.0
11	学校は子どもの善悪の判断力や規範意識を育てる努力をしている。	41 %	59 %	0 %	0 %	100 %	100.0
12	学校は、相手の立場や気持ちを考えられるなど、子どもの思いやりの心を育て、いじめのない仲間づくりに努めている。	37 %	59 %	4 %	0 %	96 %	100.0
13	学校は、黙動（清掃）ができる子どもも育てている。	48 %	44 %	7 %	0 %	93 %	84.0
14	学校は、子どもの体力向上に努力している。	11 %	70 %	19 %	0 %	81 %	84.0
15	学校は、子どもの健康保持（病気予防・食育）について、身につける努力をしている。	19 %	74 %	7 %	0 %	93 %	100.0
16	学校は、地域について学び、地域の人の協力を得ている。	30 %	63 %	7 %	0 %	93 %	92.0
17	子どもにとって学校は楽しく、生き生きとした自分の居場所になっていると思う。	26 %	70 %	4 %	0 %	96 %	100.0
					平均	93 %	93.9
18	子どもたちは、鉛筆を正しく持って書くことができる。	15 %	63 %	22 %	0 %	78 %	72.0
19	子どもたちは、ノートを書くときに下書きや定規を使っている。	15 %	78 %	7 %	0 %	93 %	92.0
20	子どもたちは「ぐう べた ぴん」を意識して、正しい姿勢で椅子に座って学習することができる。	4 %	70 %	26 %	0 %	74 %	68.0
21	子どもたちは、かかとを揃えて下駄箱に靴を置くことができる。	33 %	48 %	19 %	0 %	81 %	100.0

昨年度と比べ、数値が上がっているものと下がっているものと混在している。これは、職種によって判断基準が異なってしまったためだと考える。全体で見たときに、学校教育目標に向け、どの職員も共通理解をしていると言える。「学校は、子ども一人一人を大切にし、特別に支援の必要な子どもへも対応した教育をしている。」という項目に対し、「思わない」「あまり思わない」と回答している職員が15%いた。昨年度よりかなり人数が多くなっている。誰一人取りこぼさない教育が必要とされている今、この状況は危機的だと考える。職員の意識を変える必要があるであろう。

また、今までできていた「かかとを揃えて下駄箱に靴を置く」ことがあまりできていないという意識をもつ職員が増えていることも問題である。これまで徹底して指導してきたことが崩れてきていると考える。